

令和7年度愛南町消防団・宿毛市消防団合同訓練

10月12日(日)、町と宿毛市の消防団による合同訓練が初めて実施されました。

この訓練は、消防団の広域連携強化を図るため、県境に位置する愛南町(正木)と宿毛市(山北)が合同で実施し、林野火災時の中継送水、防ぎよ技術の向上、連携強化および協力体制の確立を図ることを目的として行いました。訓練開始にあたり、愛南町消防団の坂本議司団長は「連携の確認をする大切な機会です。いざという時に必ず地域を守れるよう、今回の訓練に臨んでいただきたい」と団員に向けて言葉を述べました。

訓練内容は、篠山小中学校のプールの水を利用し、約400メートル先にある火元まで、小型ポンプ3台を中継して放水を行うもので、参加した団員約30人は無線による情報伝達をしながら真剣な表情で訓練に臨みました。

訓練を通して、日頃から中継訓練や無線を活用した伝達訓練の必要性を改めて実感したとともに、互いの連携強化を図ることができました。

【参加者数】

愛南町消防団:22人	消防本部:4人
宿毛市消防団:11人	消防本部:4人



愛南町消防団バイク隊の活動紹介



愛媛
CATV
動画



5年前に発足したバイク隊は、高い機動性を生かし、大規模災害時の情報収集、伝達、機材搬入を目的とし、現在8人で活動を行っています。

災害発生時など、交通機能が麻痺した際に消防車が入れない場所への対応に高い期待が寄せられていることから、月1回の訓練時には採石場跡地や林道などで技術の向上に務めています。9月末の訓練では津波発生を想定し、長月から平山にかけて林道を走行。ヘルメットにインカムを装着して出発した隊員は、倒木や路面状況の悪さなど、本部と連携を図りながら安全に情報収集の任務を完了させました。

“消防団の誇りとなるようなバイク隊”を目指して組織強化を図る岡原正隊長は、「我々の活動に興味を持ってもらうことで、消防団全体の活性化にもつなげていきたい」と話し、今後の活動にも高い意欲を見せました。